

溶接安全管理審査申請書

川内原 1 9 溶申 1 第 1 号
令和元年 5 月 3 日

原子力規制委員会 殿

〒810-8720 福岡県福岡市中央区渡辺通二丁目 1 番 82 号
九州電力株式会社
代表取締役 社長執行役員 池 辺 和 弘

〒895-0132 鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山1765番地3
右代理人 九州電力株式会社
川内原子力発電所長 須 藤

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の13第3項の規定により次のとおり審査を受けたいので申請します。

審査を受けようとする組織の名称及び所在地	(審査を受けようとする組織) 九州電力株式会社 川内原子力発電所 〒895-0132 鹿児島県薩摩川内市久見崎町 字片平山1765番地3 (溶接事業者検査の協力事業者) 一般財団法人 発電設備技術検査協会 〒105-0012 東京都港区芝大門2-10-12 KDX芝大門ビル3F
溶接事業者検査の実施場所	発電所: ー 工 場: 横河電機株式会社 甲府事業所 〒400-8558 山梨県甲府市高室町155
溶接事業者検査を行う原子炉容器等の概要	川内原子力発電所 第 1 号機 ・ 格納容器内圧力伝送器用配管 溶接部の設計は、溶接部詳細一覧表WB-Z-080 W9618DWによる。
審査の実施方法及び実施時期	実用炉規則第 4 0 条第 2 号及び同規則第 4 1 条第 1 号に基づく 1 号組織耐圧時審査
審査を受けようとする溶接事業者検査の項目	該当箇所に○印を付けること。 ・ 溶接施工法 (有・ <input checked="" type="radio"/>) ・ 溶接士の技能 (有・ <input checked="" type="radio"/>) ・ 溶接構造物 溶接作業中検査 (有・ <input checked="" type="radio"/>) 溶接後熱処理 (有・ <input checked="" type="radio"/>) 非破壊試験 (有・ <input checked="" type="radio"/>) 機械試験 (有・ <input checked="" type="radio"/>) 耐圧試験 (有・ <input checked="" type="radio"/>)
審査を受けようとする期日	令和元年 7 月 1 日 ~ 令和元年 9 月 3 0 日
手数料の額	1, 1 4 4, 1 0 0 円

備考 1. 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2. 記載内容が上記によらない場合は、その内容に応じた記載とすること。

溶接事業者検査の組織を説明する書類

溶接事業者検査の組織を説明する書類

1. 会社・事業者名	九州電力株式会社 川内原子力発電所
2. 事業所名及び所在地	川内原子力発電所 鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山1765番地3
3. 事業所の溶接事業者検査体制	所長 須藤 礼
(1) 執行責任者 (役職・氏名)	所長 須藤 礼
(2) 検査組織・役割分担	<div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[所長 (執行責任者)] --- B[安全品質保証統括 室長又は課長 (品質保証担当)] A --- C[ボイラー・タービン 主任技術者 (検査監督責任者)] A --- D[保修課長 (検査実施責任者)] D --- E[協力事業者 (検査担当者)] E --- F[溶接施工工場 (検査助勢者)] </pre> </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">溶接事業者検査は、契約により一般財団法人発電設備技術検査協会が実施</p>
(3) 業務フロー (調達を含む溶接事業者検査業務形態に対する業務フローと関連部門を明記する)	<div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[工事計画策定] --- B[発注 (溶接事業者検査)] A --- C[発注 (製作、検査助勢)] B --- D[契約 ※1] C --- E[契約 ※2] D --- F[溶接事業者検査に関する 着手指示] E --- F F --- G[溶接事業者検査に係わる図書の 審査・承認] G --- H[溶接事業者検査の実施] H --- I[技術基準適合確認] I --- J[終了表示] J --- K[技術基準適合確認書の発行] </pre> </div> <p style="text-align: right; font-size: small;"> 保修課 BT主任技術者 保修課 資材部門 受注者※1, ※2 保修課 保修課 受注者※1 保修課 受注者※1, ※2 保修課 保修課 BT主任技術者 </p> <p style="font-size: small;"> ※1：協力事業者 ※2：溶接施工工場 </p>

溶接部の設計及び溶接施工法並びに
溶接を行う者の知識及び技能を説明する書類

溶接部の設計及び溶接施工法並びに溶接を行う者の知識及び技能を説明する書類

適用基準	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則及び解釈
機器の区分 【施設区分】	クラス2管、重大事故等クラス2管 【計測制御系統施設】 (原子炉格納容器バウンダリ)
溶接施工法	新規取得 : <input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 (件)
溶接士の技能	新規取得 : <input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 (名)
備 考	審査の方法：実用炉規則第40条 <input type="checkbox"/> 第1号 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 第2号 研開炉規則第36条 <input type="checkbox"/> 第1号 ・ <input type="checkbox"/> 第2号
	溶接箇所数 : <input checked="" type="checkbox"/> 300以下 ・ <input type="checkbox"/> 300超 (箇所)
	管理区域への立入り : <input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有
	溶接施工工場 : 横河電機株式会社 甲府事業所 山梨県甲府市高室町155

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

溶接安全管理審査申請変更届出書

川内原第 31 号

令和元年 6月 17日

原子力規制委員会 殿

〒810-8720 福岡県福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号
九州電力株式会社
代表取締役 社長執行役員 池辺 和弘

〒895-0132 鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山1765番地2
右代理人 九州電力株式会社
川内原子力発電所長 須藤 前

令和元年 5月31日付け川内原19溶申 1第 1号をもって申請した記載内容について、次のとおり変更しましたので、実用炉規則第39条第3項に基づき届け出ます。

	変 更 前	変 更 後	変更事由
審査を受けようとする組織の名称及び所在地	—	—	—
溶接事業者検査の実施場所	—	—	—
溶接事業者検査を行う原子炉容器等の概要	川内原子力発電所 第1号機 ・格納容器内圧力伝送器用配管 溶接部の設計は、溶接部詳細一覧表WB-Z-080 W9618DWによる。	川内原子力発電所 第1号機 ・格納容器内圧力伝送器用配管 溶接事業者検査計画書番号及び溶接線番号は、別添による。	審査対象範囲の明確化
審査の実施方法及び実施時期	—	—	—
審査を受けようとする溶接事業者検査の項目	—	—	—
審査を受けようとする期日	—	—	—
手数料の額	—	—	—
その他事項	—	—	—

【溶接安全管理審査申請書の内容変更の履歴】

溶接安全管理審査申請変更届出書

川内原第 50 号
令和元年 7月 9日

原子力規制委員会 殿

〒810-8720 福岡県福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号
九州電力株式会社
代表取締役 社長執行役員 池 辺 和 弘

〒895-0132 鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山1765番地3
右代理人 九州電力株式会社
川内原子力発電所長 川 江 隆 文

令和元年 5月31日付け川内原19溶申 1第 1号をもって申請した記載内容について、次のとおり変更しましたので、実用炉規則第39条第3項に基づき届け出ます。

	変 更 前	変 更 後	変更事由
審査を受けようとする組織の名称及び所在地	—	—	—
溶接事業者検査の実施場所	—	—	—
溶接事業者検査を行う原子炉容器等の概要	—	—	—
審査の実施方法及び実施時期	—	—	—
審査を受けようとする溶接事業者検査の項目	—	—	—
審査を受けようとする期日	—	—	—
手数料の額	—	—	—
その他事項	<ul style="list-style-type: none"> 申請者の代理申請者 「須藤 礼」 溶接事業者検査の組織を説明する書類における執行責任者 「須藤 礼」 	<ul style="list-style-type: none"> 申請者の代理申請者 「川江 隆文」 溶接事業者検査の組織を説明する書類における執行責任者 「川江 隆文」 	発電所長交代に伴う変更

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

【溶接安全管理審査申請書の内容変更の履歴】

川内原第31号 (令和元年 6月17日)

溶接事業者検査の組織を説明する書類

溶接事業者検査の組織を説明する書類

1. 会社・事業者名	九州電力株式会社 川内原子力発電所
2. 事業所名及び所在地	川内原子力発電所 鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山1765番地3
3. 事業所の溶接事業者検査体制	所長 川江 隆文
(1) 執行責任者 (役職・氏名)	所長 川江 隆文
(2) 検査組織・役割分担	<div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[所長 (執行責任者)] --- B[安全品質保証統括 室長又は課長 (品質保証担当)] A --- C[ボイラー・タービン 主任技術者 (検査監督責任者)] A --- D[保修課長 (検査実施責任者)] D --- E[協力事業者 (検査担当者)] E --- F[溶接施工工場 (検査助勢者)] </pre> </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">溶接事業者検査は、契約により一般財団法人発電設備技術検査協会が実施</p>
(3) 業務フロー (調達を含む溶接事業者検査業務形態に対する業務フローと関連部門を明記する。)	<div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[工事計画策定] --- B[発注 (溶接事業者検査)] A --- C[発注 (製作、検査助勢)] B --- D[契約 (※1)] C --- E[契約 (※2)] D --- F[溶接事業者検査に関する 着手指示] E --- F F --- G[溶接事業者検査に係わる図書の 審査・承認] G --- H[溶接事業者検査の実施] H --- I[技術基準適合確認] I --- J[終了表示] J --- K[技術基準適合確認書の発行] </pre> </div> <p style="text-align: right; font-size: small;"> 保修課 BT主任技術者 保修課 資材部門 受注者※1, ※2 保修課 保修課 受注者※1 保修課 受注者※1, ※2 保修課 保修課 BT主任技術者 </p> <p style="font-size: x-small;"> ※1：協力事業者 ※2：溶接施工工場 </p>

溶接安全管理審査申請書

川内原 1 9 溶申 1 第 2 号
令和元年 5 月 3 1 日

原子力規制委員会 殿

〒810-8720 福岡県福岡市中央区渡辺通二丁目 1 番 82 号
九州電力株式会社
代表取締役 社長執行役員 池 辺 和 弘

〒895-0132 鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片
右代理人 九州電力株式会社
川内原子力発電所長 須 藤

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の13第3項の規定により次のとおり審査を受けたいので申請します。

審査を受けようとする組織の名称及び所在地	(審査を受けようとする組織) 九州電力株式会社 川内原子力発電所 〒895-0132 鹿児島県薩摩川内市久見崎町 字片平山1765番地3 (溶接事業者検査の協力事業者) 一般財団法人 発電設備技術検査協会 〒105-0012 東京都港区芝大門2-10-12 KDX芝大門ビル3F
溶接事業者検査の実施場所	発電所：九州電力株式会社 川内原子力発電所 工 場： —
溶接事業者検査を行う原子炉容器等の概要	川内原子力発電所 第 1 号機 ・格納容器内圧力伝送器用配管 溶接部の設計は、溶接部詳細一覧表SAF-AP-190329による。
審査の実施方法及び実施時期	実用炉規則第 4 0 条第 2 号及び同規則第 4 1 条第 1 号に基づく 1 号組織耐圧時審査
審査を受けようとする溶接事業者検査の項目	該当箇所に○印を付けること。 ・溶接施工法 (有・ <input type="radio"/>) ・溶接士の技能 (有・ <input type="radio"/>) ・溶接構造物 溶接作業中検査 (<input checked="" type="radio"/>) 溶接後熱処理 (有・ <input type="radio"/>) 非破壊試験 (<input checked="" type="radio"/>) 機械試験 (有・ <input type="radio"/>) 耐圧試験 (<input checked="" type="radio"/>)
審査を受けようとする期日	令和元年 7 月 1 日 ~ 令和元年 9 月 3 0 日
手数料の額	1, 1 4 4, 1 0 0 円

備考 1. 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2. 記載内容が上記によらない場合は、その内容に応じた記載とすること。

溶接事業者検査の組織を説明する書類

溶接事業者検査の組織を説明する書類

1. 会社・事業者名	九州電力株式会社 川内原子力発電所
2. 事業所名及び所在地	川内原子力発電所 鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山1765番地3
3. 事業所の溶接事業者検査体制 (1) 執行責任者 (役職・氏名)	所 長 須 藤 礼
(2) 検査組織・役割分担	<div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[所長 (執行責任者)] --- B[安全品質保証統括 室長又は課長 (品質保証担当)] A --- C[ボイラー・タービン 主任技術者 (検査監督責任者)] A --- D[保修課長 (検査実施責任者)] D --- E[協力事業者 (検査担当者)] E --- F[溶接施工工場 (検査助勢者)] </pre> </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">溶接事業者検査は、契約により一般財団法人発電設備技術検査協会が実施</p>
(3) 業務フロー (調達を含む溶接事業者検査業務形態に対する業務フローと関連部門を明記する)	<div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[工事計画策定] --- B[発注 (溶接事業者検査)] A --- C[発注 (製作、検査助勢)] B --- D[契約 (※1)] C --- E[契約 (※2)] D --- F[溶接事業者検査に関する 着手指示] E --- F F --- G[溶接事業者検査に係わる図書の 審査・承認] G --- H[溶接事業者検査の実施] H --- I[技術基準適合確認] I --- J[終了表示] J --- K[技術基準適合確認書の発行] </pre> </div> <p style="font-size: small;">※1：協力事業者 ※2：溶接施工工場</p>

溶接部の設計及び溶接施工法並びに
溶接を行う者の知識及び技能を説明する書類

溶接部の設計及び溶接施工法並びに溶接を行う者の知識及び技能を説明する書類

適用基準	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則及び解釈
機器の区分 【施設区分】	クラス2管、重大事故等クラス2管 【計測制御系統施設】 (原子炉格納容器バウンダリ)
溶接施工法	新規取得 : <input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 (件)
溶接士の技能	新規取得 : <input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 (名)
備考	審査の方法：実用炉規則第40条 <input type="checkbox"/> 第1号 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 第2号 研開炉規則第36条 <input type="checkbox"/> 第1号 ・ <input type="checkbox"/> 第2号
	溶接箇所数 : <input checked="" type="checkbox"/> 300以下 ・ <input type="checkbox"/> 300超 (箇所)
	管理区域への立入り : <input type="checkbox"/> 無 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 有
	溶接施工工場 : 三菱重工業株式会社 パワードメイン 原子力事業部 (神戸・二見地区) 兵庫県神戸市兵庫区和田崎町一丁目1番1号

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

溶接安全管理審査申請変更届出書

川内原第 32 号
令和元年 6 月 17 日

原子力規制委員会 殿

〒810-8720 福岡県福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号
九州電力株式会社
代表取締役 社長執行役員 池辺 和弘

〒895-0132 鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山1765番地3
右代理人 九州電力株式会社
川内原子力発電所長 須藤 禎

令和元年 5 月 31 日付け川内原 19 溶申 1 第 2 号をもって申請した記載内容について、次のとおり変更しましたので、実用炉規則第 39 条第 3 項に基づき届け出ます。

	変更前	変更後	変更事由
審査を受けようとする組織の名称及び所在地	—	—	—
溶接事業者検査の実施場所	—	—	—
溶接事業者検査を行う原子炉容器等の概要	川内原子力発電所 第1号機 ・格納容器内圧力伝送器用配管 溶接部の設計は、溶接部詳細一覧表 SAF-AP-190329 による。	川内原子力発電所 第1号機 ・格納容器内圧力伝送器用配管 溶接事業者検査計画書番号及び溶接線番号は、別添による。	審査対象範囲の明確化
審査の実施方法及び実施時期	—	—	—
審査を受けようとする溶接事業者検査の項目	—	—	—
審査を受けようとする期日	—	—	—
手数料の額	—	—	—
その他事項	—	—	—

【溶接安全管理審査申請書の内容変更の履歴】

溶接安全管理審査申請変更届出書

川内原第 51 号
令和元年 7 月 9 日

原子力規制委員会 殿

〒810-8720 福岡県福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号
九州電力株式会社
代表取締役 社長執行役員 池 辺 和 弘

〒895-0132 鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山1765番地3
右代理人 九州電力株式会社
川内原子力発電所長 川 江 隆 文

令和元年 5 月 31 日付け川内原 19 溶申 1 第 2 号をもって申請した記載内容について、次のとおり変更しましたので、実用炉規則第 39 条第 3 項に基づき届け出ます。

	変 更 前	変 更 後	変更事由
審査を受けようとする組織の名称及び所在地	—	—	—
溶接事業者検査の実施場所	—	—	—
溶接事業者検査を行う原子炉容器等の概要	—	—	—
審査の実施方法及び実施時期	—	—	—
審査を受けようとする溶接事業者検査の項目	—	—	—
審査を受けようとする期日	—	—	—
手数料の額	—	—	—
その他事項	<ul style="list-style-type: none"> 申請者の代理申請者 「須藤 礼」 溶接事業者検査の組織を説明する書類における執行責任者 「須藤 礼」 	<ul style="list-style-type: none"> 申請者の代理申請者 「川江 隆文」 溶接事業者検査の組織を説明する書類における執行責任者 「川江 隆文」 	発電所長交代に伴う変更

備考 用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

【溶接安全管理審査申請書の内容変更の履歴】

川内原第 32 号 (令和元年 6 月 17 日)

溶接事業者検査の組織を説明する書類

溶接事業者検査の組織を説明する書類

1. 会社・事業者名	九州電力株式会社 川内原子力発電所
2. 事業所名及び所在地	川内原子力発電所 鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山1765番地3
3. 事業所の溶接事業者検査体制	(1) 執行責任者 (役職・氏名) 所長 川江 隆文
(2) 検査組織・役割分担	<div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[所長 (執行責任者)] --- B[安全品質保証統括 室長又は課長 (品質保証担当)] A --- C[ボイラー・タービン 主任技術者 (検査監督責任者)] A --- D[保修課長 (検査実施責任者)] D --- E[協力事業者 (検査担当者)] E --- F[溶接施工工場 (検査助勢者)] </pre> </div> <p style="font-size: small;">溶接事業者検査は、契約により一般財団法人発電設備技術検査協会が実施</p>
(3) 業務フロー (調達を含む溶接事業者検査業務形態に対する業務フローと関連部門を明記する。)	<div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[工事計画策定] --- B[発注 (溶接事業者検査)] A --- C[発注 (製作、検査助勢)] B --- D[契約 (※1)] C --- E[契約 (※2)] D --- F[溶接事業者検査に関する 着手指示] E --- F F --- G[溶接事業者検査に係わる図書の 審査・承認] G --- H[溶接事業者検査の実施] H --- I[技術基準適合確認] I --- J[終了表示] J --- K[技術基準適合確認書の発行] </pre> </div> <p style="font-size: small;">※1：協力事業者 ※2：溶接施工工場</p>

溶接安全管理審査申請書

川内原 1 9 溶申 2 第 4 号
令和元年 5 月 31 日

原子力規制委員会 殿

〒810-8720 福岡県福岡市中央区渡辺通二丁目 1 番 82 号
九州電力株式会社
代表取締役 社長執行役員 池 辺 和 弘

〒895-0132 鹿児島県薩摩川内市久見崎町字 〇〇〇〇
右代理人 九州電力株式会社
川内原子力発電所長 須 〇〇〇

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の13第3項の規定により次のとおり審査を受けたいので申請します。

審査を受けようとする組織の名称及び所在地	(審査を受けようとする組織) 九州電力株式会社 川内原子力発電所 〒895-0132 鹿児島県薩摩川内市久見崎町 字片平山1765番地3 (溶接事業者検査の協力事業者) 一般財団法人 発電設備技術検査協会 〒105-0012 東京都港区芝大門2-10-12 KDX芝大門ビル3F
溶接事業者検査の実施場所	発電所： — 工 場：株式会社大阪特殊鋼管製造所 徳島工場 〒771-0213 徳島県板野郡松茂町豊久字豊久開拓139-13
溶接事業者検査を行う原子炉容器等の概要	川内原子力発電所 第2号機 ・主復水管 ・第5抽気管 溶接部の設計は、溶接部詳細一覧表19G66001Yによる。
審査の実施方法及び実施時期	実用炉規則第40条第2号及び同規則第41条第1号に基づく1号組織耐圧時審査
審査を受けようとする溶接事業者検査の項目	該当箇所に○印を付けること。 ・溶接施工法 (有・ <input checked="" type="radio"/>) ・溶接士の技能 (有・ <input checked="" type="radio"/>) ・溶接構造物 溶接作業中検査 (有・ <input checked="" type="radio"/>) 溶接後熱処理 (有・ <input checked="" type="radio"/>) 非破壊試験 (有・ <input checked="" type="radio"/>) 機械試験 (有・ <input checked="" type="radio"/>) 耐圧試験 (有・ <input checked="" type="radio"/>)
審査を受けようとする期日	令和元年 7 月 1 日 ~ 令和元年 9 月 3 0 日
手数料の額	1, 144, 100 円

備考 1. 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
2. 記載内容が上記によらない場合は、その内容に応じた記載とすること。

溶接事業者検査の組織を説明する書類

溶接事業者検査の組織を説明する書類

1. 会社・事業者名	九州電力株式会社 川内原子力発電所
2. 事業所名及び所在地	川内原子力発電所 鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山1765番地3
3. 事業所の溶接事業者検査体制	(1) 執行責任者 (役職・氏名) 所 長 須 藤 礼
(2) 検査組織・役割分担	<div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[所長 (執行責任者)] --- B[安全品質保証統括室長又は課長 (品質保証担当)] A --- C[ホィー・タービン主任技術者 (検査監督責任者)] A --- D[保修課長 (検査実施責任者)] D --- E[協力事業者 (検査担当者)] E --- F[溶接施工工場 (検査助勢者)] </pre> </div> <p style="font-size: small;">溶接事業者検査は、契約により一般財団法人発電設備技術検査協会が実施</p>
(3) 業務フロー (調達を含む溶接事業者検査業務形態に対する業務フローと関連部門を明記する)	<div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[工事計画策定] --- B[発注 (溶接事業者検査)] A --- C[発注 (製作、検査助勢)] B --- D[契約 (※1)] C --- E[契約 (※2)] D --- F[溶接事業者検査に関する着手指示] F --- G[溶接事業者検査に係わる図書の審査・承認] G --- H[溶接事業者検査の実施] H --- I[技術基準適合確認] I --- J[終了表示] J --- K[技術基準適合確認書の発行] E --- L[資材部門 受注者※1、※2] </pre> </div> <p style="font-size: small;">※1: 協力事業者 ※2: 溶接施工工場</p>

溶接部の設計及び溶接施工法並びに
溶接を行う者の知識及び技能を説明する書類

溶接部の設計及び溶接施工法並びに溶接を行う者の知識及び技能を説明する書類

適用基準	実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則及び解釈
機器の区分 【施設区分】	クラス3相当管 【蒸気タービンに係る管】
溶接施工法	新規取得 : <input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 (件)
溶接士の技能	新規取得 : <input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有 (名)
備 考	審査の方法 : 実用炉規則第40条 <input type="checkbox"/> 第1号 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 第2号 研開炉規則第36条 <input type="checkbox"/> 第1号 ・ <input type="checkbox"/> 第2号
	溶接箇所数 : <input checked="" type="checkbox"/> 300以下 ・ <input type="checkbox"/> 300超 (箇所)
	管理区域への立入り : <input checked="" type="checkbox"/> 無 ・ <input type="checkbox"/> 有
	溶接施工工場 : 株式会社大阪特殊鋼管製造所 徳島工場 徳島県板野郡松茂町豊久字豊久開拓139-13

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

溶接安全管理審査申請変更届出書

川内原第 34 号
令和元年 6月 17 日

原子力規制委員会 殿

〒810-8720 福岡県福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号
九州電力株式会社
代表取締役 社長執行役員 池 辺 和 弘

〒895-0132 鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山1765番地3
右代理人 九州電力株式会社
川内原子力発電所長 須 藤 順

令和元年 5月31日付け川内原19溶申 2第 4号をもって申請した記載内容について、次のとおり変更しましたので、実用炉規則第39条第3項に基づき届け出ます。

	変 更 前	変 更 後	変更事由
審査を受けようとする組織の名称及び所在地	—	—	—
溶接事業者検査の実施場所	—	—	—
溶接事業者検査を行う原子炉容器等の概要	川内原子力発電所 第2号機 ・主復水管 ・第5抽気管 溶接部の設計は、溶接部詳細一覧表19G66001Yによる。	川内原子力発電所 第2号機 ・主復水管 ・第5抽気管 溶接事業者検査計画書番号及び溶接線番号は、別添による。	審査対象範囲の明確化
審査の実施方法及び実施時期	—	—	—
審査を受けようとする溶接事業者検査の項目	—	—	—
審査を受けようとする期日	—	—	—
手数料の額	—	—	—
その他事項	—	—	—

【溶接安全管理審査申請書の内容変更の履歴】

溶接安全管理審査申請変更届出書

川内原第 53 号
令和元年 7月 9日

原子力規制委員会 殿

〒810-8720 福岡県福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号
九州電力株式会社
代表取締役 社長執行役員 池辺 和弘

〒895-0132 鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山1765番地3
右代理人 九州電力株式会社
川内原子力発電所長 川江 隆文

令和元年 5月 31日付け川内原1.9溶申 2第 4号をもって申請した記載内容について、次のとおり変更しましたので、実用炉規則第39条第3項に基づき届け出ます。

	変 更 前	変 更 後	変更事由
審査を受けようとする組織の名称及び所在地	—	—	—
溶接事業者検査の実施場所	—	—	—
溶接事業者検査を行う原子炉容器等の概要	—	—	—
審査の実施方法及び実施時期	—	—	—
審査を受けようとする溶接事業者検査の項目	—	—	—
審査を受けようとする期日	—	—	—
手数料の額	—	—	—
その他事項	<ul style="list-style-type: none"> 申請者の代理申請者 「須藤 礼」 溶接事業者検査の組織を説明する書類における執行責任者 「須藤 礼」 	<ul style="list-style-type: none"> 申請者の代理申請者 「川江 隆文」 溶接事業者検査の組織を説明する書類における執行責任者 「川江 隆文」 	発電所長交代に伴う変更

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

【溶接安全管理審査申請書の内容変更の履歴】

川内原第3-4号 (令和元年 6月17日)

溶接事業者検査の組織を説明する書類

溶接事業者検査の組織を説明する書類

1. 会社・事業者名	九州電力株式会社 川内原子力発電所
2. 事業所名及び所在地	川内原子力発電所 鹿児島県薩摩川内市久見崎町字片平山1765番地3
3. 事業所の溶接事業者検査体制	所長 川江 隆文
(1) 執行責任者 (役職・氏名)	所長 川江 隆文
(2) 検査組織・役割分担	<div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[所長 (執行責任者)] --- B[安全品質保証統括室長又は課長 (品質保証担当)] A --- C[ボイラー・タービン主任技術者 (検査監督責任者)] A --- D[保修課長 (検査実施責任者)] D --- E[協力事業者 (検査担当者)] E --- F[溶接施工工場 (検査助勢者)] </pre> </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">溶接事業者検査は、契約により一般財団法人発電設備技術検査協会が実施</p>
(3) 業務フロー (調達を含む溶接事業者検査業務形態に対する業務フローと関連部門を明記する。)	<div style="text-align: center;"> <pre> graph TD A[工事計画策定] --> B[発注 (溶接事業者検査)] A --> C[発注 (製作、検査助勢)] B --> D[契約 ※1] C --> E[契約 ※2] D --> F[溶接事業者検査に関する着手指示] E --> F F --> G[溶接事業者検査に係わる図書の審査・承認] G --> H[溶接事業者検査の実施] H --> I[技術基準適合確認] I --> J[終了表示] J --> K[技術基準適合確認書の発行] </pre> </div> <p style="font-size: small;">※1：協力事業者 ※2：溶接施工工場</p>